

講演会

児童文学講演会

羽村市図書館 編

実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 一般
2	実施時期 : 4月後半の土曜日
3	概要 : 「子ども読書の日」の関連事業にちなんだ事業として毎年4月23日周辺に実施 児童文学作家または絵本画家を招き、作品に関すること、子どもと本との関わり方についての考えを講演していただく
4	内容 生涯学習センターとの共催事業。 図書館サイドで講演会を行い、その絵本作家の原画を生涯学習センターの展示室で一定期間展示する。 また、講師は主に多摩地区に関連し原画展も同時開催できる作家を選んできた。 事例 平成18年度「内田麟太郎さんを囲んで」 『ともだちや』の作家 平成19年度『漆原智良と立松和平 児童文学を楽しむ』漆原智良さん 立松和平さん 平成20年度「たるいし まこ ギャラリーク まるごと絵本のはなし」垂石 真子さん 平成21年度「絵本の育て方 絵本をよむこと、つくること」伊藤 寛氏 平成22年度「中村悦子 絵本のおはなし」 絵本作家 中村 悦子さん 平成23年度「おっと、痛快絵本の読み語りの旅でい！羽村の宿」絵本作家 飯野 好和さん
5	参加者の反応 参加者の対象は児童文学に関心のある一般の方。作家によっては子どもの入場不可の場合があり、講演会会場では子どもの入場はほとんどなし。だが今年度の講演会では親子で楽しめる児童文学講演会として、作家自らが絵本の読み語りをを行う。 原画と作家を繋ぎ合わせての事業なので、関心も高い。質疑応答では積極的に参加している姿が見られる。
6	連携した諸機関 生涯学習センターゆとろぎ 図書館ボランティア（講演会の前に講師の作品の読み聞かせを行う場合）